

北陸農政局管内における「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」認定棚田

農林水産省では、棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、国民の皆さまに、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層のご理解とご協力をいただくことを目的として、優良な棚田を認定する「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」を実施しました。全国で 271 棚田が認定され、そのうち北陸農政局管内で認定された棚田は、50棚田です。

つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～(ポスト棚田百選)の実施について

⇒<https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/tanadasen.html>

全国の認定棚田はこちら

⇒<https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/nintei.html>

【表：北陸農政局管内 4 県の『つなぐ棚田遺産』認定棚田】

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/nintei.html#4hokurikushinnetsu>

認定棚田名 (所在地)	コメント
【新潟県】	
比礼カカシアート棚田 (長岡市比礼諏訪平)	比礼カカシプロジェクトとして長岡造形大と地元住民の共同により、景観や地域の維持、活性化を図る活動をしています。
北五百川の棚田 (三条市北五百川)	県の名水で作る北五百川の棚田米は、棚田オーナー・米フェス等各種体験イベントを通じて、美味しさをPRしています。
花坂の棚田 (柏崎市高柳町石黒)	地元有志による NPO が、急傾斜地を切拓いた雄大な棚田を守っています。
梨ノ木田の棚田 (柏崎市高柳町高尾)	出身者が市内から通いで、米、ニンジンやトマト等を作り棚田を守っています。
上輪新田の棚田 (柏崎市上輪新田)	日本海に続く棚田は柏崎ではここだけ。集落と生産者が協力して美しい風景を守っています。
飯寺の棚田 (柏崎市大字矢田)	学校との連携や、地域おこし協力隊の受入れで、農地保全、活性化を図る活動をしています。
蒲生の棚田 (十日町市蒲生)	棚田や景色の復元を模索し、大学(早稲田大)との交流を活性化に繋げています。
儀明の棚田 (十日町市儀明)	拠点「トロノキハウス」に都市住民などが集い、棚田保全や文化伝統の継承に関する研究、イベント、ワークショップなどの活動をしています。
小荒戸の棚田 (十日町市小荒戸)	集落内を流れる「源太川」(げったがわ)から「ゲッタ」の愛称を活動に名付けて親しんでいます。住民主体の環境整備等に地域おこし協力隊が加わり活動しています。
三ツ山の棚田 (十日町市新座乙)	地元住民の他、ボランティアや来訪者とともに棚田を守る活動を継続しています。

菅刈の棚田 (十日町市菅刈)	地元主体の活動に、地域おこし協力隊や移住者が加わり、棚田の景観が復元するよう活動中です。
星峠の棚田 (十日町市峠)	「まつだい棚田バンク」により NPO 法人越後妻有里山協働機構が保全活動に参加。地元イベント「大地の芸術祭」が縁の交流や大学等へ学術研究の場を提供しています。
池谷・入山の棚田 (十日町市中条庚)	移住者を受入れて組織的に農地を引継ぎ、耕作から直販まで行い、持続可能な農業を目指しています。
枯木又の棚田 (十日町市中条丁)	年4回の会報で、都市住民との協働で枯木又エコ・ミュージアムの会の活動を地域内外に発信しています。
慶地の棚田 (十日町市東下組)	有志の会で地元産棚田米の直販を始め、今は、ネット販売も行ってブランド化にも軌道に乗り始めています。
松代の棚田 (十日町市松代)	「まつだい棚田バンク」を通じて都市住民や地域的女子サッカー選手などの新たな担い手が活躍。「大地の芸術祭」でアート・農・食を堪能できる活動をしています。
布川の棚田群 (十日町市松之山下布川、 松之山中尾、松之山東川、 松之山上鰯池、松之山下鰯池、 松之山五十平、松之山赤倉、 松之山坪野、松之山東山)	地域おこし協力隊や都市部の学生をはじめ、民間企業などと連携し、豊かな自然環境を活かした取り組みにより棚田保全と地域振興に繋げています。
留守原の棚田 (十日町市松之山天水島)	地域の協力により美しい棚田の景観を守っています。
三桶の棚田 (十日町市松之山三桶)	酒造会社等と連携して、かつて集落内で造られていた清酒「松風」の復活に棚田米を使用しています。
蓬平の棚田 (十日町市蓬平)	蓬平集落の農家さんが丹精込めて作った一等米をブランド化。「ぶなの森の棚田米」の名称で、地元の道の駅「まつだいふるさと会館」で販売しています。
筒方地区の棚田群 (上越市板倉区)	棚田で生産した米、蕎麦、山菜を使った食べ物や加工品は美味しいと評判で、イベントは地区内外から多くの人が訪れる恒例行事になっています。
名水「大出口泉水」 流れる棚田群 (上越市柿崎区東横山)	幼少期の体験や感動は心に残るもの。将来、大出口泉水、その水が流れる棚田群を訪れて、次世代に感動を伝えてくれることを願っています。
櫛池の棚田群 (上越市清里区)	豊富な良質水で美味しい米を作る。約 30%を占める急峻な農地の維持・保全を地域全体で取り組んでいます。
正善寺の棚田 (上越市下正善寺)	地域の維持・活性化のため、上杉謙信公の時代に多くあった、人馬が行きかう道(古道)を整備するとともに、古道を歩く散策会を定期的で開催し、内外から多くの参加をいただき、好評をいただいている。
角間の棚田 (上越市大字中ノ俣)	棚田耕作の技術を身に着けることに主眼を置いた「棚田学校」の開催を軸に、参加者と地域住民が棚田の維持、ひいては地域コミュニティを形成しています。

字角間)	
おぐろの棚田群 (上越市安塚区)	冬季湛水、草刈りや水管理を徹底し美味しい米づくりに努めるとともに、休耕田などに「柳葉ひまわり」を植栽し良好な景観づくりにも努めています。
川谷もより棚田群 (上越市吉川区)	住民が助け合い、また、都市住民や移住者などに支えられながら、豊かな自然や文化を守り、きれいな水と空気と棚田が育むおいしい米づくりを続けています。
岩首昇竜棚田 (佐渡市岩首)	H19 から棚田を拠点に島外の大学生やスノーピークをはじめとした企業との交流を積極的に実施。棚田米のブランド化や 6 次産業化にも取り組んでいます。
歌見の棚田 (佐渡市歌見)	あまり知られることのない農業者の日常を消費者と共有し、食を生み出す地域そのものを味わっていただける取り組みを行っています。
小倉千枚田 (佐渡市小倉)	島内で唯一、オーナー制度を導入し、その特典として、収穫米の贈呈に加え、田植えや稲刈りなどの農作業体験や地元との交流イベントに参加いただけます。
片野尾棚田 (佐渡市片野尾)	トキとの共生を目指した餌場環境整備と、島内唯一の農村歌舞伎の継承に精力的に取り組んでいます。
北片辺棚田 (佐渡市北片辺)	「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」の取り組みを通じて、佐渡最高峰の金北山の麓に広がる生物多様性豊かな環境を守っています。
達者棚田 (佐渡市達者)	安寿と厨子王ゆかりの里では、江の設置や冬みず田んぼの取組みを通じて生物多様性豊かな里山環境を守っています。
月布施棚田 (佐渡市月布施)	トキとの共生を目指して耕作放棄地のビオトープ化を通じて、野生復帰の絶対条件である餌場環境の整備に精力的に取り組んでいます。
鋤江の棚田 (胎内市鋤江)	棚田から蔵王山塊西山へと続く登山道は、里山保全のため集落の方々が地域おこし協力隊とともに整備。登山道から、棚田・ブナの木々・天然の湧き水といった里山の風景を眺めることができます。
結束の石垣田 (津南町結束地内)	明治初期、噴火で石だらけだった場所を切り開いた石垣田において、住民総出でのこまめな草刈りや補修作業により、美しい風景を保っています。

【富山県】	
河西の棚田 (富山市八尾町)	農地の維持管理や鳥獣害対策に中山間地域直接支払制度を活用。ブルーベリーやエゴマの栽培で農地の荒廃防止と特産品開発に取り組んでいます。
三乗の棚田 (富山市八尾町)	中山間地域等直接支払制度を活用して、集落協定参加者で草刈り等の農地の維持管理を行っています。
胡桃棚田群 (氷見市胡桃)	自然の湧き水を使った低たんぱく米「春陽」と減農薬・減肥料の「特別栽培米コシヒカリ」を栽培。氷見高へ農作業体験の場を提供し、古き良き農業を伝えています。
長坂棚田群 (氷見市長坂)	集落一体で棚田オーナー事業による棚田保全に取り組む。今後、名所旧跡・自然を紹介した冊子を作成し、滞在型観光の検討も予定しています。
相倉棚田 (南砺市相倉)	南砺市相倉棚田オーナー事業を通じて、世界遺産の相倉合掌造り集落の棚田の原風景を守る。「世界遺産の中にある田んぼ」で農業体験をして欲しいと考えています。

【石川県】	
白米千枚田 (輪島市白米町)	白米千枚田は厳しい地形や自然を克服した先祖の努力の結晶。奥能登伝統文化を伝えるうえで継承保存は意味深いとの認識から伝統的耕作方法の伝承をしています。
神子原地区棚田群 (羽咋市神子原町、千石町、菅池町)	当地域の米を「神子原米」としてローマ法王に献上し、ブランド化に成功。神子原米で純米大吟醸酒「神子-Son of God-」を製造し、魅力をさらに向上させています。
河原山の棚田群 (白山市河原山町)	棚田の保全やまちづくりを地域で完結させず、様々な訪問者が共に地域課題に協働しながら、次世代への継承につながる新しいまちの在り方を目指しています。
中原棚田 (津幡町字笠池ヶ原)	笠池ヶ原集落協定の40～80代の構成員が維持管理活動を行う。中原棚田の頂上からの眺望は見晴らしが非常に良く、日本海側まで見渡すことができます。
大笹波水田 (志賀町笹波)	継続的な耕作と景観維持に取り組み、災害の未然防止の役割を果たす。日本海と集落が周辺の山々と調和し、世界農業遺産「能登の里山里海」らしい景観をつくります。
黒川棚田 (能登町黒川)	有志団体「黒川創生会」が江戸期の能登天領庄屋「中谷家」を核として、「黒川天領米」のブランド化や地域活性化に取り組んでいます。
当目千石棚田 (能登町当目蓮花坊、当目甲地、当目中組、当目極楽寺、当目田代)	昼夜の寒暖差が激しく、奥能登の主要3河川の町野川、河原田川、山田川の源流地であり、源流水栽培「当目の米」をブランド化して販売しています。

【福井県】	
かんにや (小浜市田島)	優美な絶景・安らぎの一刻を創出する棚田キャンドルと、棚田米を用いた伝統食「へしこなれずし」を継承しています。
菅浜棚田 (美浜町旧山東村菅浜)	菅浜集落のまちづくりを進める「菅浜わくわく協働体」と連携し、農地の維持と棚田に隣接する「はーぶ&れもん園」との良好な景観を形成しています。

○新潟県内の認定棚田

新潟県：農地部 農村環境課

新潟県内から8市町36地区の棚田が認定されました！
つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～とは

⇒<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/tanadanet/tanadaisan-niigata.html>

○石川県内の認定棚田

石川県：農林水産部里山振興室

つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～（ポスト棚田百選）

⇒<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/satoyama/tanada/tanadasen.html>